



2025年2月期・第2四半期(中間期)

決算説明資料

2024年10月22日

株式会社竹内製作所

(証券コード:6432)

- ▶ 2025年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2025年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ トピックス
- ▶ ご参考資料

決算のポイント（2025年2月期・上期実績）

（1）販売台数は欧米ともに減少

- 北米の販売台数は **△2.5%**（1Q:+2.1%、2Q:△7.1%、対前年同期比）
住宅市場は調整局面が継続し、ミニショベルが伸び悩み
買入部品の不具合により、一部クローラーローダーの出荷が第3四半期へずれ込む
- 欧州の販売台数は **△16.2%**（1Q:△23.2%、2Q:△8.5%、対前年同期比）
住宅ローン金利の高止まりとエネルギー価格の上昇による生活費の高騰により、住宅需要が低迷
- トータル販売台数は **△11.0%**（1Q:△13.0%、2Q:△8.9%、対前年同期比）

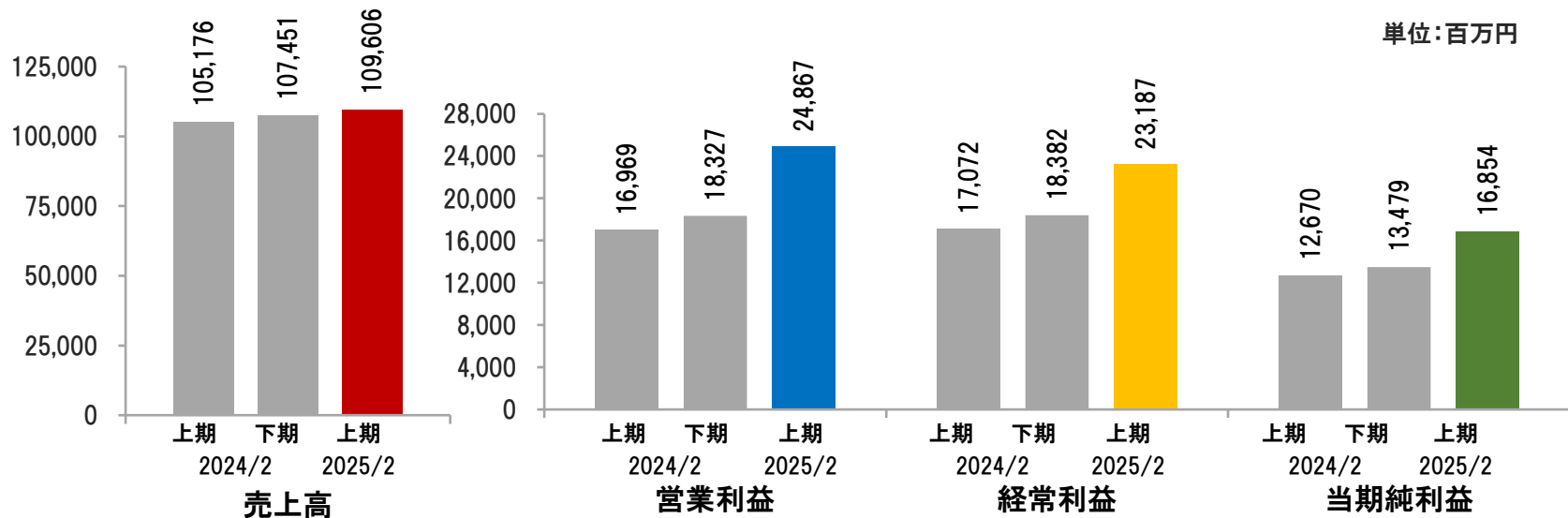
（2）売上高、利益面ともに^{↓上期として}**過去最高**（売上高は+4.2%、営業利益は+46.5%、対前年同期比）

- 販売台数の減少、原材料価格や固定費の上昇等の減益要因はあったものの、円安影響、値上げ、製品構成・顧客構成の変化等の増益要因により大幅な増益

(単位:億円)	2024年2月期(前期)						2025年2月期(当期)		
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期
売上高	530	521	1,051	536	537	1,074	551	544	1,096
売上総利益	129	125	255	129	136	266	157	185	342
販管費	44	41	85	43	39	82	46	48	94
└ うち運搬費	21	15	36	17	17	35	17	19	37
営業利益	85	84	169	86	96	183	111	137	248

連結業績ハイライト (2025年2月期・上期実績)

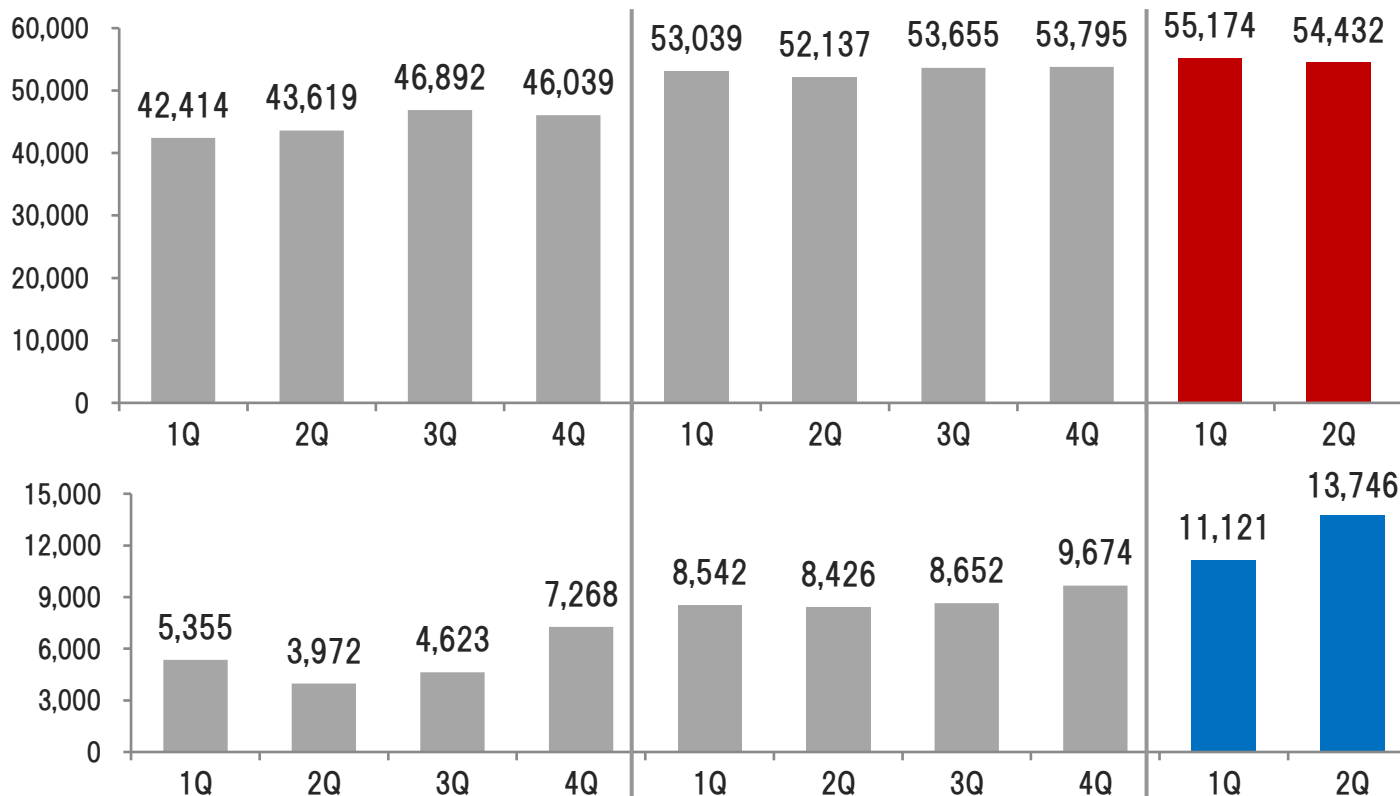
単位:百万円	2024年2月期		2025年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	売上比率	上期実績	売上比率	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
■ 売上高	105,176	—	109,606	—	+4,430	+4.2%	112,000	△2,393
■ 営業利益	16,969	16.1%	24,867	22.7%	+7,898	+46.5%	21,000	+3,867
■ 経常利益	17,072	16.2%	23,187	21.2%	+6,114	+35.8%	20,800	+2,387
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	12,670	12.0%	16,854	15.4%	+4,183	+33.0%	14,800	+2,054
設備投資額	4,798	4.6%	1,397	1.3%	△3,401	△70.9%	1,794	△396
減価償却費	1,285	1.2%	1,807	1.6%	+522	+40.7%	1,809	△1
受注高	87,309	—	97,311	—	+10,002	+11.5%	***	—
受注残高	172,880	—	116,602	—	△56,278	△32.6%	***	—



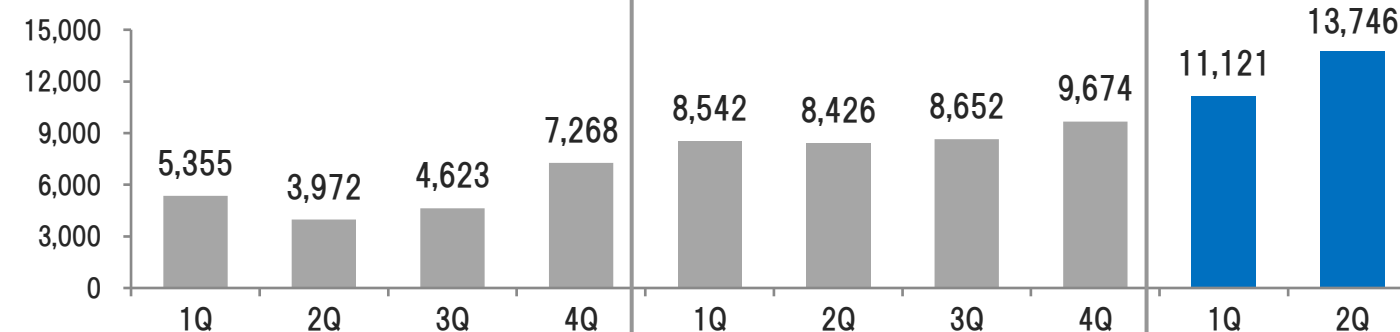
四半期毎の売上高・営業利益

単位:百万円

売上高



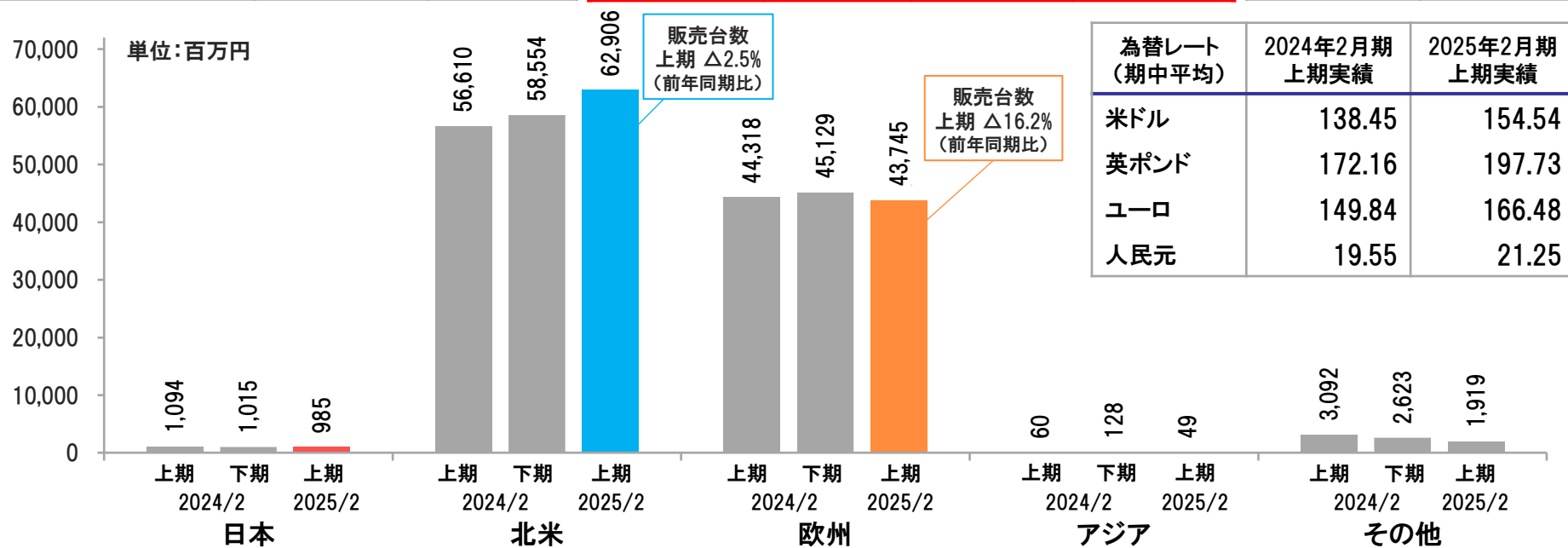
営業利益



	2023年2月期				2024年2月期				2025年2月期	
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
円/米ドル	121.43	133.43	143.54	134.12	134.74	140.48	148.62	145.93	152.45	156.84
円/英ポンド	157.87	163.51	166.55	163.00	165.80	179.25	183.10	185.38	194.22	199.39
円/ユーロ	133.83	138.77	142.85	142.51	146.10	154.14	158.55	159.56	164.58	168.43
円/人民元	18.56	19.70	20.11	19.60	19.43	19.66	20.08	20.31	20.75	21.76

地域別売上高 (2025年2月期・上期実績)

単位:百万円	2024年2月期		2025年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	構成比	上期実績	構成比	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
日本	1,094	1.0%	985	0.9%	△108	△9.9%	680	+305
北米	56,610	53.8%	62,906	57.4%	+6,296	+11.1%	64,580	△1,673
欧州	44,318	42.1%	43,745	39.9%	△573	△1.3%	44,030	△284
アジア	60	0.1%	49	0.0%	△10	△18.1%	70	△20
その他	3,092	2.9%	1,919	1.8%	△1,173	△37.9%	2,640	△720
売上高合計	105,176	100.0%	109,606	100.0%	+4,430	+4.2%	112,000	△2,393
海外売上高	104,082	99.0%	108,621	99.1%	+4,538	+4.4%	111,320	△2,698



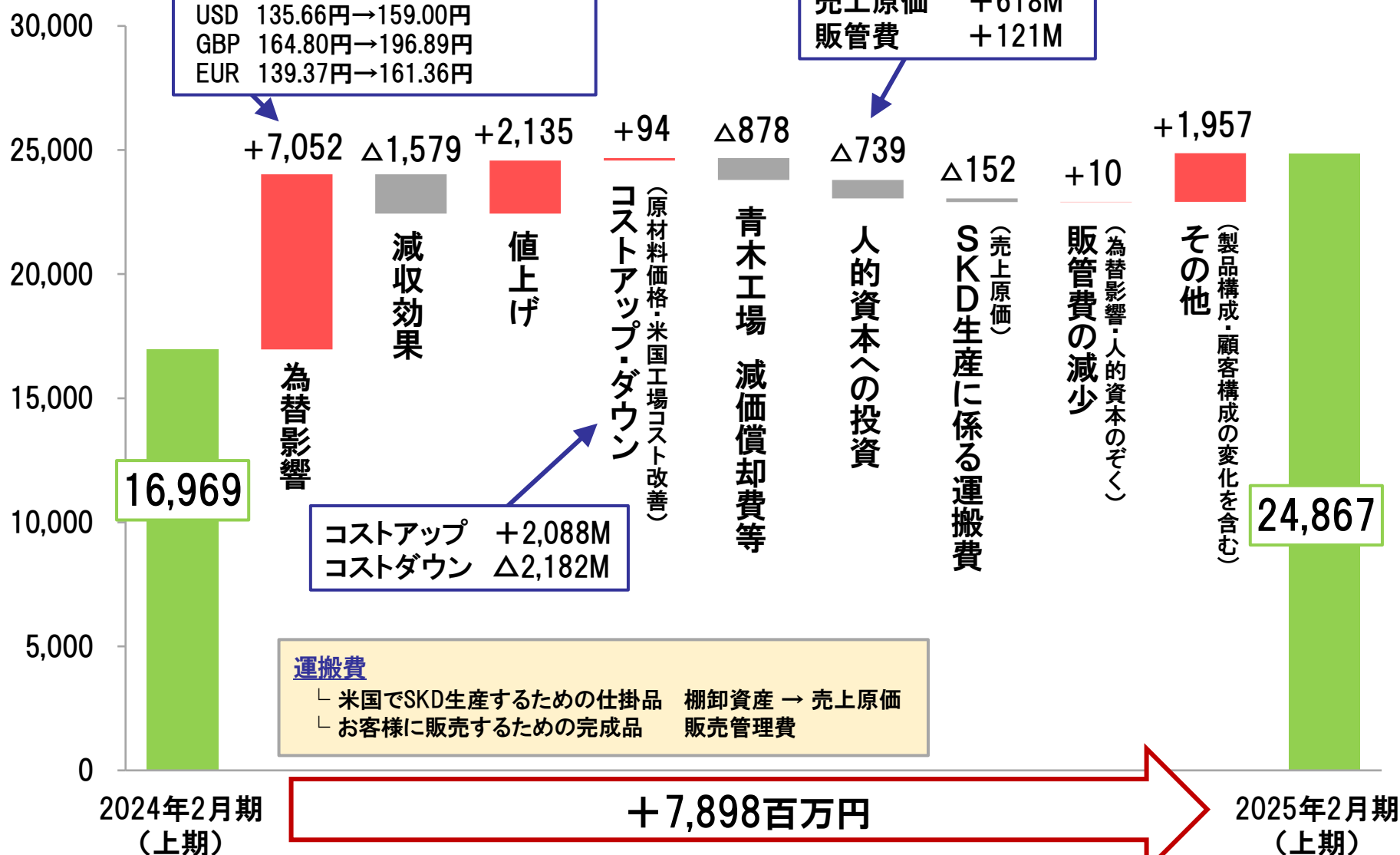
所在地別セグメント情報 (2025年2月期・上期実績)

単位:百万円	2024年2月期		2025年2月期			
	上期実績	利益率	上期実績	利益率	前年同期増減額	前年同期増減率
日本売上高	36,166	—	33,163	—	△3,002	△8.3%
セグメント利益	12,458	34.4%	22,400	67.5%	+9,942	+79.8%
米国売上高	56,618	—	62,921	—	+6,303	+11.1%
セグメント利益	5,167	9.1%	6,975	11.1%	+1,807	+35.0%
英国売上高	7,488	—	7,346	—	△142	△1.9%
セグメント利益	842	11.2%	110	1.5%	△731	△86.8%
フランス売上高	4,867	—	6,132	—	+1,264	+26.0%
セグメント利益	520	10.7%	533	8.7%	+12	+2.5%
中国売上高	35	—	42	—	+6	+18.9%
セグメント利益	26	75.4%	192	457.4%	+165	+621.4%

- 日本セグメント (竹内製作所)
 - ・ 建設機械の開発、製造
 - ・ 日本国内での建設機械の販売 / 欧州及びアジア・オセアニア地域のディストリビューターへの建設機械の販売
- 米国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD.)
 - ・ 米国及びカナダでの建設機械の販売
 - ・ 建設機械の製造
- 英国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.)
 - ・ 英国での建設機械の販売
- フランスセグメント (TAKEUCHI FRANCE S.A.S.)
 - ・ フランスでの建設機械の販売
- 中国セグメント (竹内工程機械(青島)有限公司)
 - ・ 中国での建設機械の販売
 - ・ 中国及びアジア向けの建設機械の製造
 - ・ 日本セグメント向けの建設機械の製缶品(部材)の製造、調達及び販売

営業利益増減要因 (2025年2月期・上期実績)

単位:百万円



* 未実現利益を考慮したレート: 日本から米英仏の販売子会社への輸送・在庫期間を考慮したレート

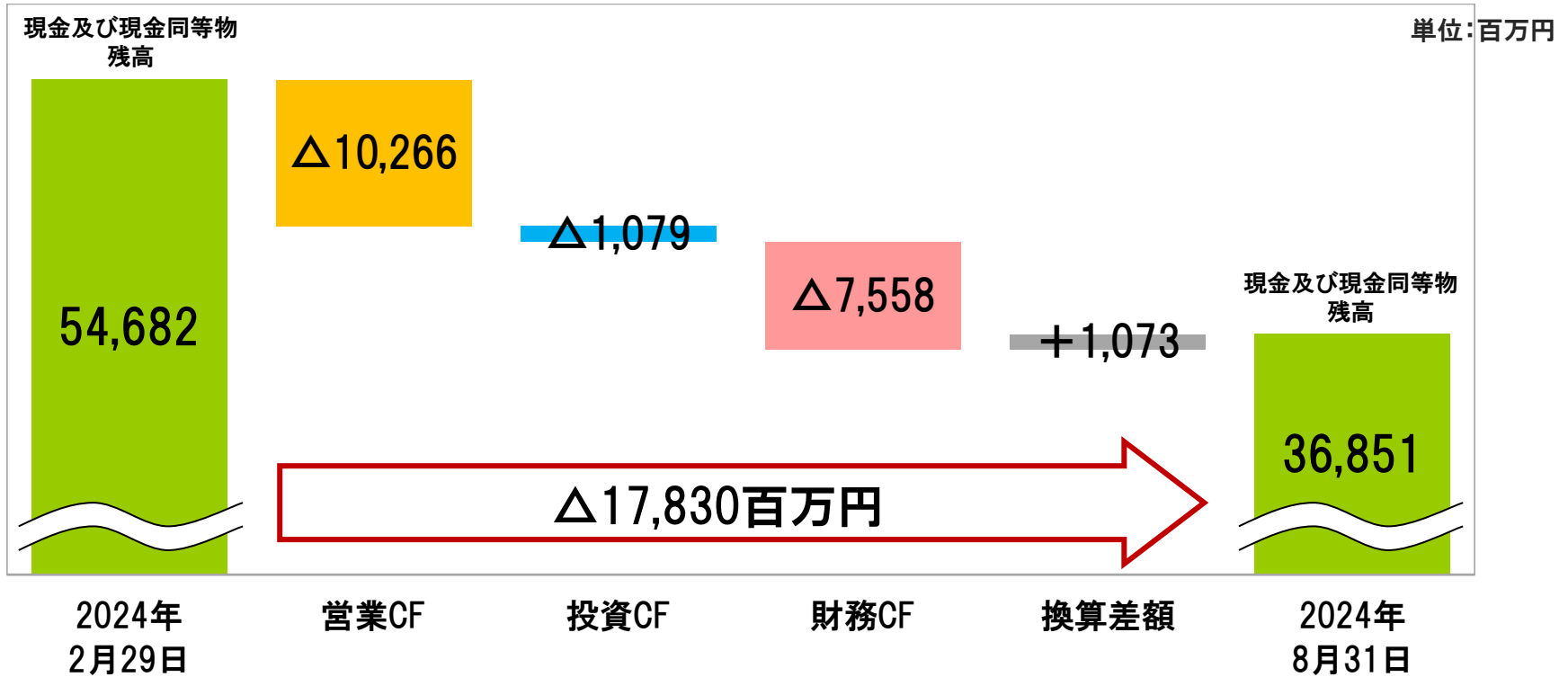
連結貸借対照表 (2024年8月31日現在)

単位:百万円

		2024年2月29日	
		残高	構成比
資産の部	現金及び預金	55,175	27.8%
	受取手形及び売掛金	44,572	22.5%
	棚卸資産	58,263	29.4%
	その他流動資産	3,908	2.0%
	流動資産	161,920	81.7%
	固定資産	36,233	18.3%
合計		198,153	100.0%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金	36,381	18.4%
	その他流動負債	13,490	6.8%
	流動負債	49,872	25.2%
	固定負債	655	0.3%
	負債合計	50,527	25.5%
	純資産合計	147,625	74.5%
	合計	198,153	100.0%

2024年8月31日			
残高	構成比	増減額	増減率
37,382	18.0%	△17,792	△32.2%
51,086	24.6%	+6,513	+14.6%
76,308	36.8%	+18,045	+31.0%
3,771	1.8%	△137	△3.5%
168,548	81.3%	+6,628	+4.1%
38,801	18.7%	+2,568	+7.1%
207,350	100.0%	+9,197	+4.6%
26,387	12.7%	△9,993	△27.5%
14,260	6.9%	+769	+5.7%
40,647	19.6%	△9,224	△18.5%
695	0.3%	+39	+6.0%
41,342	19.9%	△9,184	△18.2%
166,007	80.1%	+18,381	+12.5%
207,350	100.0%	+9,197	+4.6%

連結キャッシュ・フロー計算書 (2025年2月期・上期実績)



営業キャッシュ・フロー		投資キャッシュ・フロー		財務キャッシュ・フロー	
	増減額		増減額		増減額
税金等調整前当期純利益	23,187	有形固定資産の取得	△1,302	配当金の支払	△7,537
減価償却費	1,807	無形固定資産の取得	△39		
棚卸資産の増加	△11,860	有価証券の償還による収入	300		
運転資金の増加	△16,769				
法人税等の支払	△8,693				
その他	2,061	その他	△37	その他	△20
合計	△10,266	合計	△1,079	合計	△7,558

- ▶ 2025年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2025年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ トピックス
- ▶ ご参考資料

業績予想のポイント（2025年2月期・通期予想）

単位:百万円	前回予想（2024年4月12日公表）			修正後予想（2024年10月10日公表）				
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
日本	680	620	1,300	985	874	1,860	+560	+43.1%
北米	64,580	66,240	130,820	62,906	59,353	122,260	△8,560	△6.5%
欧州	44,030	42,750	86,780	43,745	43,604	87,350	+570	+0.7%
アジア	70	60	130	49	100	150	+20	+15.4%
その他	2,640	2,330	4,970	1,919	1,960	3,880	△1,090	△21.9%
売上高合計	112,000	112,000	224,000	109,606	105,893	215,500	△8,500	△3.8%
営業利益	21,000	17,500	38,500	24,867	19,632	44,500	+6,000	+15.6%
経常利益	20,800	17,700	38,500	23,187	18,812	42,000	+3,500	+9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,800	12,700	27,500	16,854	13,145	30,000	+2,500	+9.1%

（1）下期の製品需要

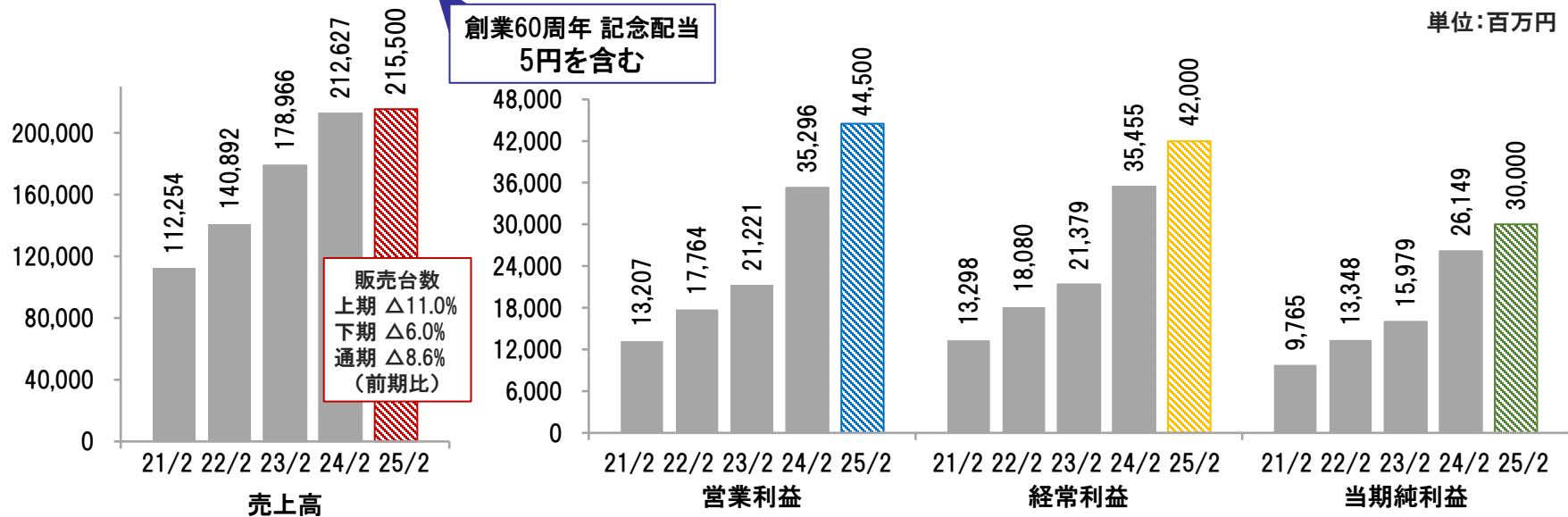
- 欧米の市場全体の製品需要は、上期と同程度を見込む
- 北米では、一部出荷が下期にずれ込んだ影響と新規顧客の獲得等により、販売台数は上向く

（2）売上高は前回予想を下回るも、売上高、利益面ともに過去最高を予想

- 通期販売台数は前回予想比で減少、北米に一服感（北米 △13.3%、欧州 △5.3% 前回予想比）
- 各段階利益は海上運賃が想定を下回ったこと、及び円安影響で上振れ

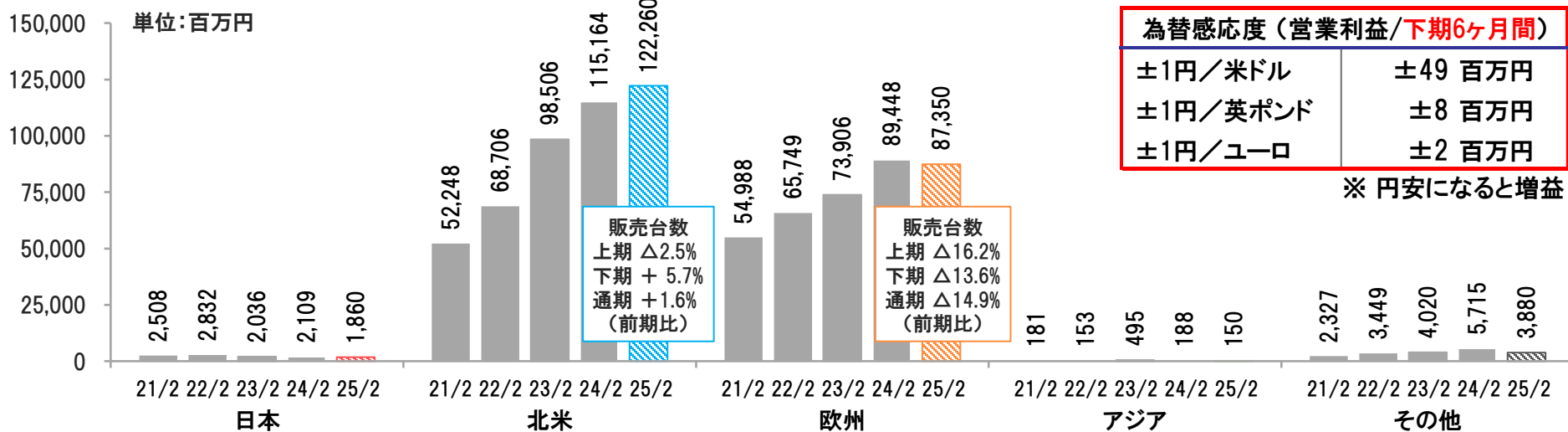
連結業績予想ハイライト (2025年2月期・通期予想)

単位:百万円	2024年2月期		2025年2月期					
	通期	売上比率	上期実績	下期予想	通期予想	売上比率	増減額	増減率
■ 売上高	212,627	—	109,606	105,893	215,500	—	+2,872	+1.4%
■ 営業利益	35,296	16.6%	24,867	19,632	44,500	20.6%	+9,203	+26.1%
■ 経常利益	35,455	16.7%	23,187	18,812	42,000	19.5%	+6,544	+18.5%
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	26,149	12.3%	16,854	13,145	30,000	13.9%	+3,850	+14.7%
■ 設備投資額	8,070	3.8%	1,397	4,007	5,404	2.5%	△2,666	△33.0%
■ 減価償却費	3,321	1.6%	1,807	2,147	3,954	1.8%	+632	+19.0%
1株純利益	548.58円	配当性向 28.8%	353.58円	—	629.36円	配当性向 31.8%	+80.78円	+14.7%
1株配当金	158.00円		—	—	200.00円		+42.00円	+26.6%

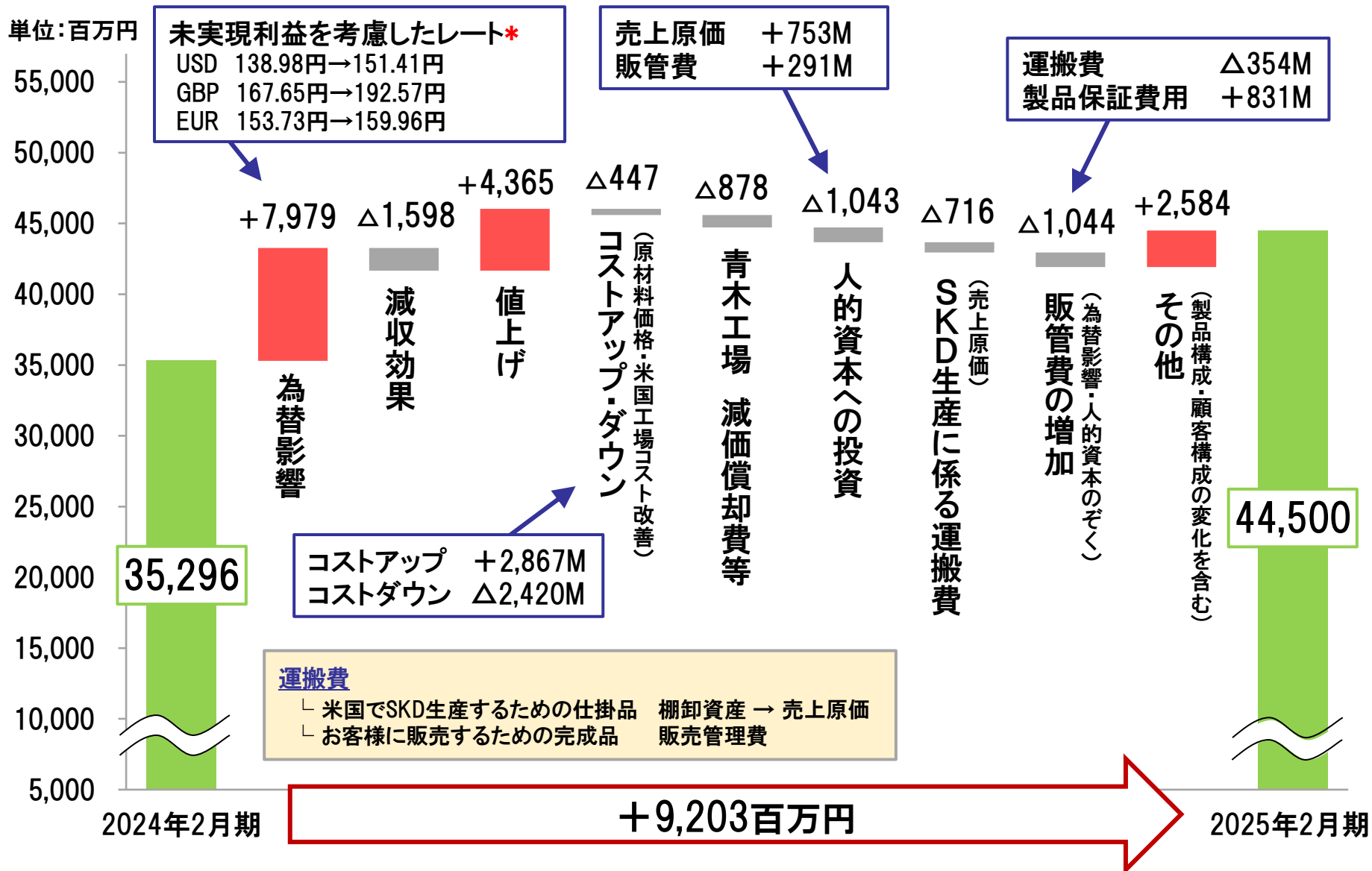


地域別売上高予想 (2025年2月期・通期予想)

単位:百万円	2024年2月期		2025年2月期					
	通期	構成比	上期実績	下期予想	通期予想	構成比	増減額	増減率
日本	2,109	1.0%	985	874	1,860	0.9%	△249	△11.8%
北米	115,164	54.2%	62,906	59,353	122,260	56.7%	+7,095	+6.2%
欧州	89,448	42.1%	43,745	43,604	87,350	40.5%	△2,098	△2.3%
アジア	188	0.1%	49	100	150	0.1%	△38	△20.6%
その他	5,715	2.7%	1,919	1,960	3,880	1.8%	△1,835	△32.1%
売上高合計	212,627	100.0%	109,606	105,893	215,500	100.0%	+2,872	+1.4%
円/米ドル	143.25円	—	154.54円	138.00円	147.54円	—	+4.29円	+3.0%
円/英ポンド	177.55円	—	197.73円	179.00円	188.03円	—	+10.48円	+5.9%
円/ユーロ	155.05円	—	166.48円	152.00円	159.71円	—	+4.66円	+3.0%
円/人民元	19.87円	—	21.25円	19.30円	20.47円	—	+0.60円	+3.0%



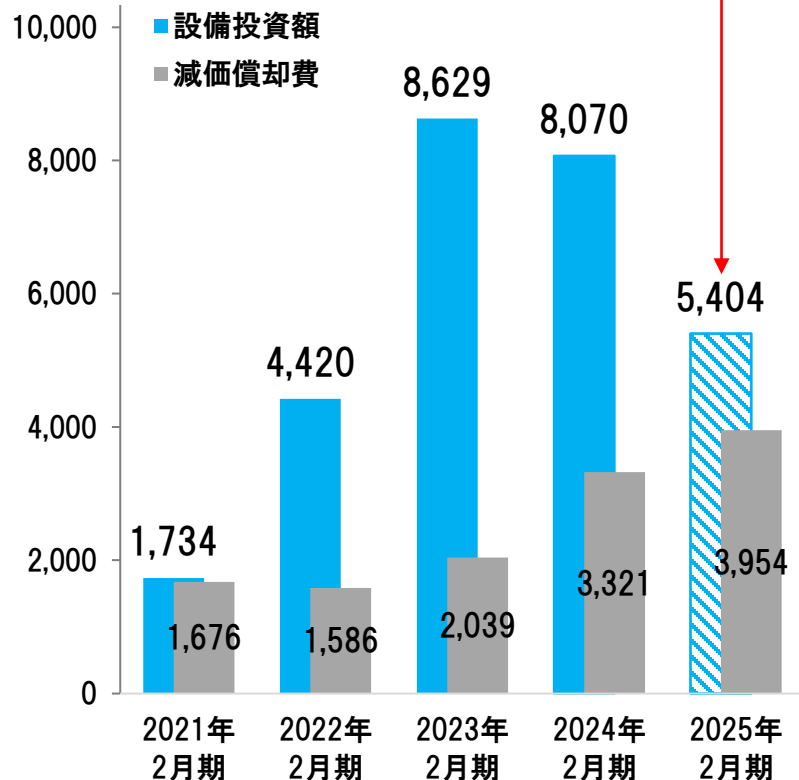
営業利益増減要因 (2025年2月期・通期予想)



* 未実現利益を考慮したレート: 日本から米英仏の販売子会社への輸送・在庫期間を考慮したレート

設備投資計画

単位：百万円



◇ 2024年2月期 設備投資の主な内訳

本社	11億円	治具、金型、試作機、設備の維持更新
青木工場	50億円	当期：50億円、前期まで：60億円
社員寮	9億円	本社工場、青木工場の隣地に2棟
竹内US	10億円	太陽光パネル（TUS本社・米国工場） 生産設備・塗装設備（米国工場）
合計	80億円	

◇ 2025年2月期 設備投資計画の主な内訳

本社 青木工場	35億円	治具、金型、設備の維持更新 本社パーツセンター設備更新、建物増設 工場の設備増設、生産合理化 安全強化、職場環境の改善	13億円 10億円 8億円 4億円
社員寮	7億円	長野県上田市に1棟	
竹内US	5億円	米国工場の設備増設、販促強化、IT投資	
その他	7億円		
合計	54億円		

2021年2月期

Takeuchi US 倉庫増築(約5.4億円)



2022年2月期

USTレーニングセンター(約5億円)



2023年2月期

米国工場(約47億円)



2024年2月期

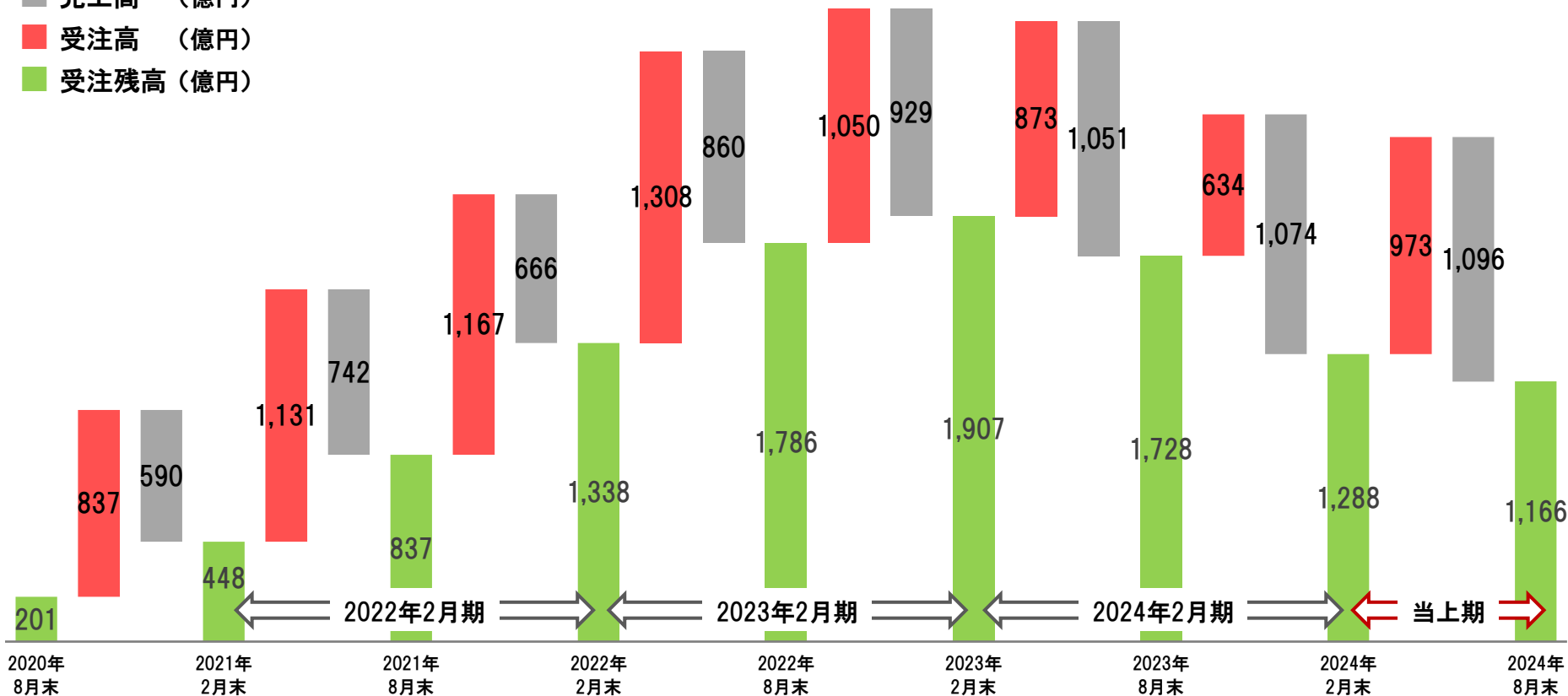
青木工場(約110億円)



- ▶ 2025年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2025年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ **トピックス**
- ▶ ご参考資料

売上高、受注高、受注残高

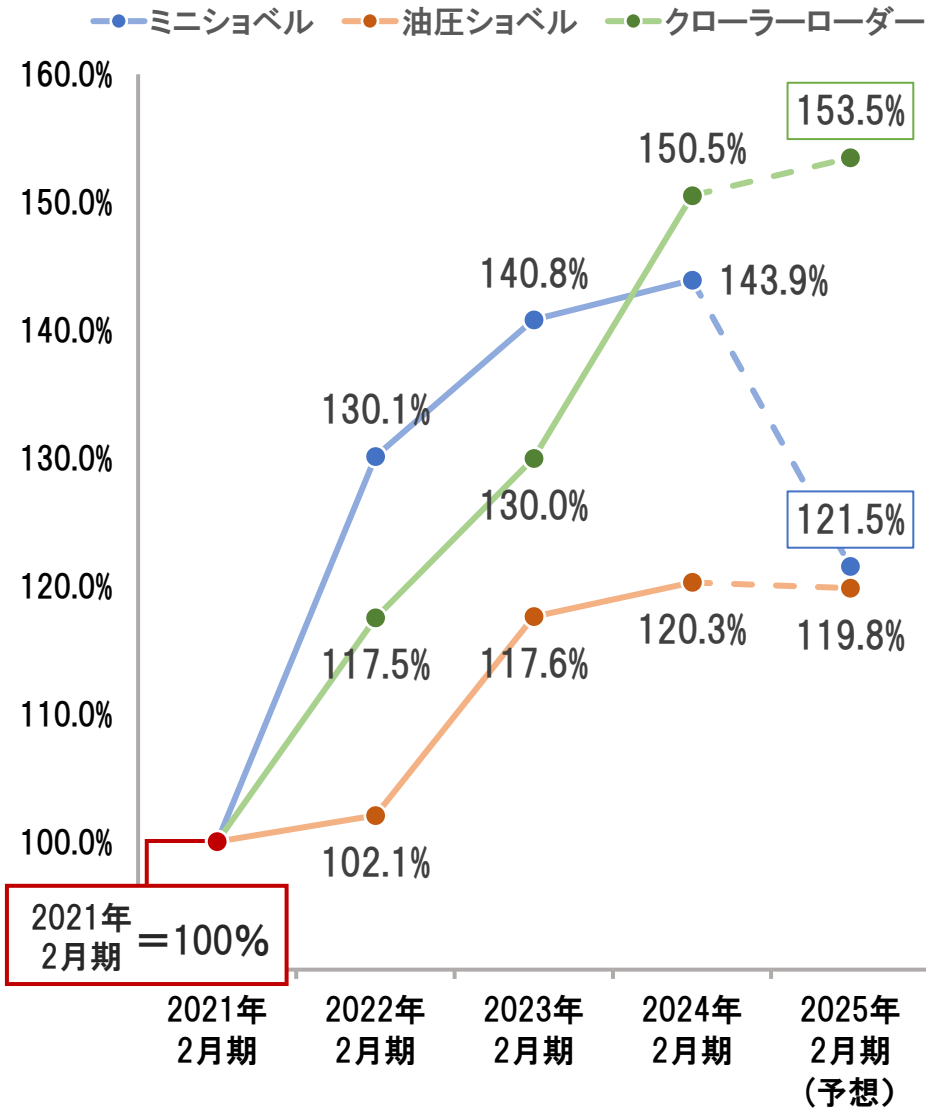
■ 売上高 (億円)
■ 受注高 (億円)
■ 受注残高 (億円)



(単位:億円)	2022年2月期				2023年2月期				2024年2月期				2025年2月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	333	408	326	339	424	436	468	460	530	521	536	537	551	544
受注高	601	529	635	531	665	642	470	579	476	396	382	252	615	357
受注残高	717	837	1,147	1,338	1,580	1,786	1,788	1,907	1,853	1,728	1,574	1,288	1,352	1,166

製品別の販売状況（ミニ&油圧ショベル、クローラーローダー）

販売台数の伸長率の推移（グループ合計）



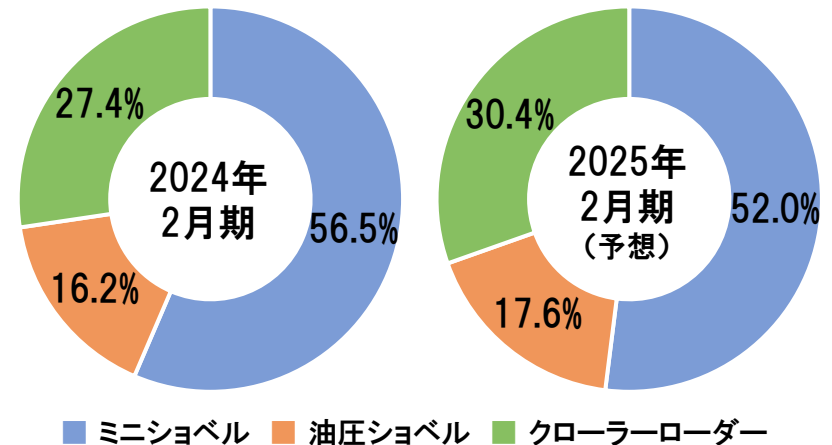
ミニショベル

- 欧州での主力製品
個人消費の低迷、住宅金利の高騰等により、欧州での販売が減速（特に3トン以下）
- 北米のミニショベル販売は堅調であり、前期（2024年2月期）の台数を上回る見込み

クローラーローダー

- 北米での主力製品
当社グループのクローラーローダーの大部分は北米で販売されている
- 徐々に欧州でも販売が伸び始めている

製品別販売台数の割合（グループ合計）



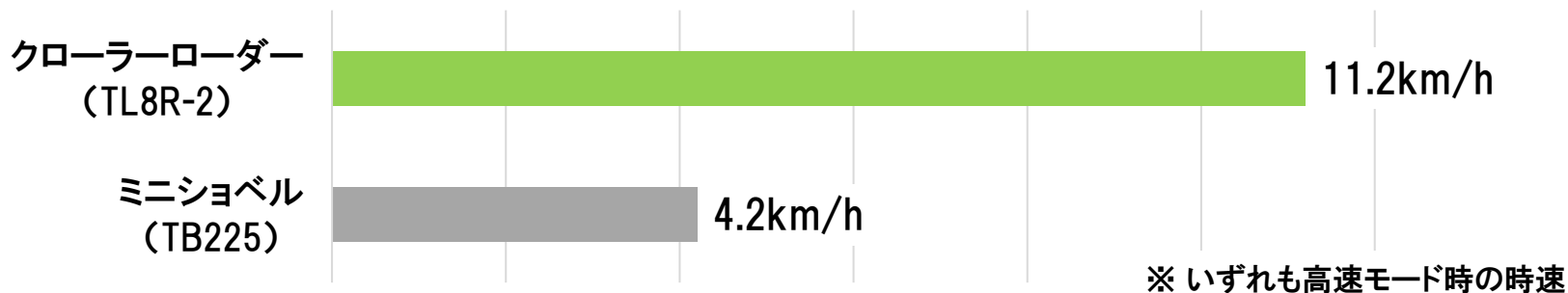
クローラーローダーの特長

ミニ/油圧ショベルは
掘削作業が得意

クローラーローダーは、運搬・整地作業を得意とする

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発、生産開始（1986年9月）
- ✓ 建設機械業界では、コンパクトトラックローダー(CTL)と呼ばれている

① ミニショベル/油圧ショベルより移動速度が速い



② 主に米国で普及

工事現場が広大である場合が多い米国では、建設機械の分業により効率を上げられる

- ✓ 掘削作業
→ ミニショベル、油圧ショベル
- ✓ 運搬作業・整地作業
→ 移動速度が速いクローラーローダーの方が効率的

クローラーローダーの特長

- ③ アーム先端のアタッチメントを交換することで、様々な作業が可能
→ 建設現場のみならず、農作業、森林整備、造園などマルチに使用できる



農作業



建材運搬
(太陽光パネル)



整地作業



造園作業



森林整備

クローラーローダーの特長

④ 災害現場の復興作業(がれき除去等)でも活躍



能登半島地震・復興ボランティア



欧州市場の状況 (ドイツ展示会@ニュルンベルク、9月11日～9月14日)



クローラーローダーを展示
※ 草刈り機(Mulcher)を装着
主に森林整備で使用

<https://www.youtube.com/watch?v=HTnRStp9ELk>

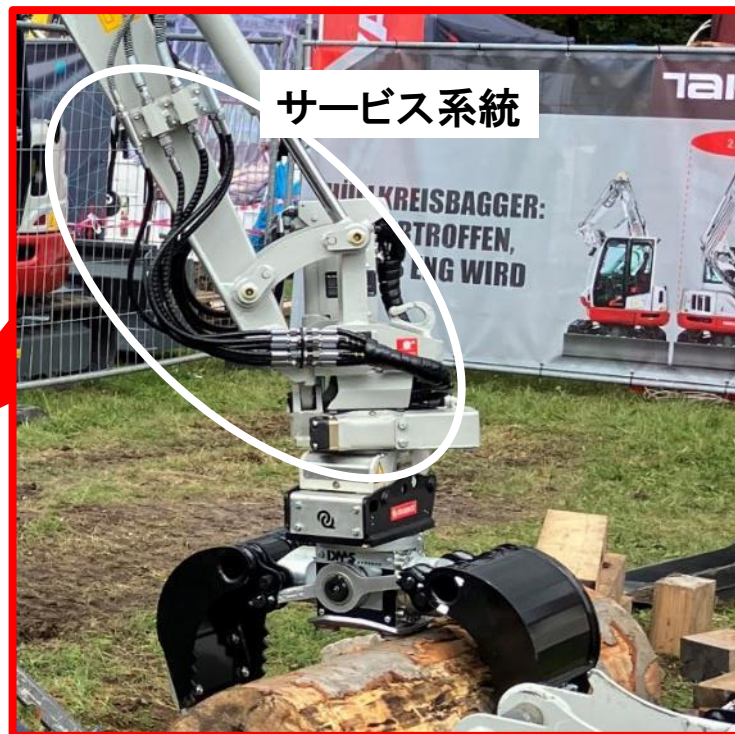


- ✓ 朝9:00のオープンと同時に、多くのお客様が当社ブースを訪れていた
(プレミアム製品と位置づけられる当社製品を見たい、触れたいお客様でブースは盛況)
- ✓ エンドユーザーの仕事は減っていない
- ✓ コロナ後の製品不足の際に、ディーラーは余分に製品を購入したため、今は在庫調整期間
- ✓ ドイツの建機市場では、3トン未満の小型ショベルが低迷しているが、4トン以上は堅調に推移

欧州市場の状況（ドイツ展示会@ニュルンベルク、9月11日～9月14日）

屋外のデモンストレーションエリア

- ✓ アタッチメントを交換したデモを披露
- ✓ 製品本体の特長だけでなく、当社製品の拡張性・多用途性をアピール



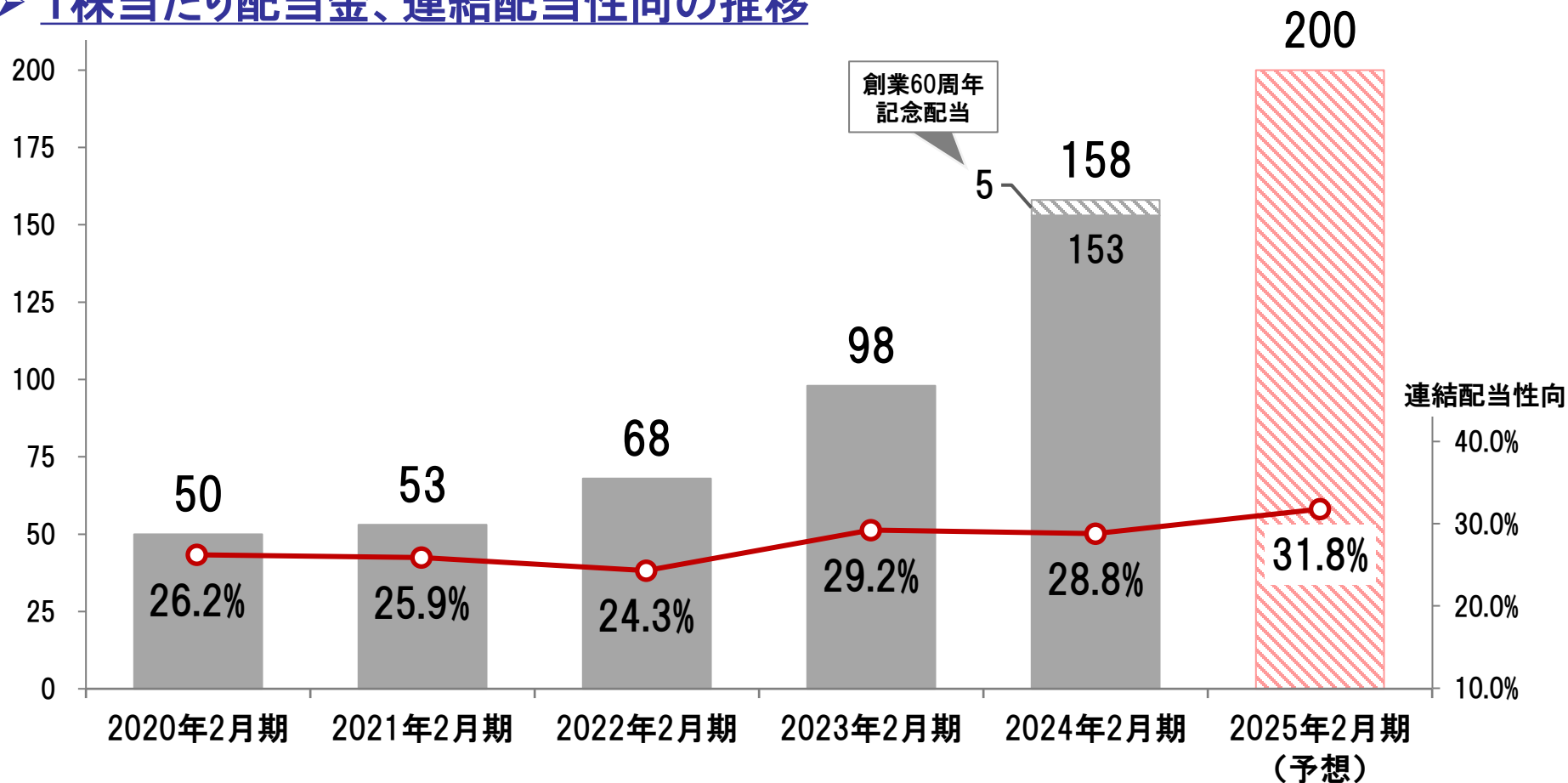
掴む・離す・回転させるといった複雑な動きをするアタッチメントを操作するには、油圧サービス系統が充実した建設機械が必要となる。

株主還元、連結配当性向

基本方針： 経営体質の強化並びに今後の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、**連結配当性向30%を目安**として、安定した配当の継続に努める。

自己株取得： 株価水準や資本効率等を勘案のうえ、**自己株式の取得**を適宜実施する。

▶ 1株当たり配当金、連結配当性向の推移



自己株式の取得

基本方針： 経営体質の強化並びに今後の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、**連結配当性向30%を目安**として、安定した配当の継続に努める。

自己株取得： 株価水準や資本効率等を勘案のうえ、**自己株式の取得**を適宜実施する。

➤ 自己株式の取得に係る事項を取締役会で決議（2024年10月10日）

取得し得る株式総数	上限 200万株 発行済株式総数に対する割合 4.2%（自己株式を除く）
取得価額の総額	上限 70億円
取得期間	2024年10月11日から2025年1月31日まで
取得理由	現行の株主還元方針のもと、株価水準や資本効率等を勘案し、株主の皆様への一層の利益還元を行うため、自己株式の取得を行うもの

ご参考

- ✓ 発行済株式総数（自己株式を除く） 47,744,971株（2024年9月30日現在）
- ✓ 自己株式数 1,254,029株（2024年9月30日現在）

- ▶ 2025年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2025年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ トピックス
- ▶ **ご参考資料**

社是、企業理念

創造

豊かな感性をもって、ニーズに応えた商品開発をする。

社是

挑戦

夢と若さをもって、より高い目標に向かって果敢に行動する。

協調

和と思いやりの心をもって、調和の取れた社会との共生を図る。

企業理念

世界初から世界の TAKEUCHI へ

■ 私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、TAKEUCHIのものづくりを追求します。

■ グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。

■ 一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

会社概要

会社名	株式会社竹内製作所	
英文社名	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	
代表者	代表取締役社長 竹内敏也	
本社所在地	長野県埴科郡坂城町上平205番地	
設立	1963年8月21日	
決算期	2月末	
資本金	3,632百万円 (2024年2月29日現在)	
売上高(連結)	212,627百万円 (2024年2月期)	
従業員数(連結)	1,265名 (2024年8月31日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード 6432)	
子会社	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD. (設立 1979年2月)
	英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD. (設立 1996年10月)
	仏国	TAKEUCHI FRANCE S.A.S. (設立 2000年5月)
	中国	竹内工程機械(青島)有限公司 (設立 2005年4月)

<主力製品>

ミニショベル・油圧ショベル

- ✓ 当社が世界初のミニショベルを開発、生産開始(1971年9月)
- ✓ ミニショベル
製品質量が6トン未満のもの
- ✓ 油圧ショベル
製品質量が6トン以上のもの

主な用途

- ✓ 住宅建設の基礎工事
- ✓ 水道管、ガス管等の配管工事
- ✓ 公園や庭に木を植える造園工事
- ✓ 老朽化した建物の解体・修復工事



クローラーローダー

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発、生産開始(1986年9月)
- ✓ ミニ/油圧ショベルより移動速度が速く、運搬作業に向く
- ✓ 北米需要が主だが、欧州でも需要増

主な用途

- ✓ ミニショベルで掘削した土砂の運搬
- ✓ 地面の掘削、整地
- ✓ アーム先端のバケット部を交換することで様々な作業が可能



業績推移

単位:百万円		第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期(予想)	
		2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	前年増減額
日	本	813	2,508	2,832	2,036	2,109	1,860	△249
北	米	53,222	52,248	68,706	98,506	115,164	122,260	+7,095
欧	州	60,313	54,988	65,749	73,906	89,448	87,350	△2,098
ア	ジ	384	181	153	495	188	150	△38
そ	の	1,179	2,327	3,449	4,020	5,715	3,880	△1,835
他								
売	上	115,913	112,254	140,892	178,966	212,627	215,500	+2,872
高								
営	業	12,649	13,207	17,764	21,221	35,296	44,500	+9,203
利	益							
経	常	12,403	13,298	18,080	21,379	35,455	42,000	+6,544
利	益							
親	会	9,091	9,765	13,348	15,979	26,149	30,000	+3,850
社	株							
主	に							
帰	属							
す	る							
当	期							
純	利							
益								
1	株	190.64円	204.78円	279.91円	335.19円	548.58円	629.36円	+80.78円
純	利							
益								
1	株	50.00円	53.00円	68.00円	98.00円	158.00円	200.00円	+42.00円
配	当							
金								
円	/	109.21円	106.13円	111.72円	133.12円	143.25円	147.54円	+4.29円
米	ド							
ル								
円	/	139.49円	137.88円	153.06円	162.58円	177.55円	188.03円	+10.48円
英	ポ							
ン	ド							
※	1							
円	/	121.46円	122.91円	130.57円	139.81円	155.05円	159.71円	+4.66円
ユ	ー							
ロ								
円	/	15.82円	15.41円	17.12円	19.49円	19.87円	20.47円	+0.60円
人	民							
元								
純	資	83,683	89,908	104,083	121,802	147,625		
資	産							
総	資	108,982	115,525	137,201	158,785	198,153		
資	産							
自	己	76.8%	77.8%	75.9%	76.7%	74.5%		
資	本							
比	率							
R	O	11.3%	11.3%	13.8%	14.1%	19.4%		
E	※							
2								
R	O	11.7%	11.8%	14.3%	14.4%	19.9%		
A	※							
3								

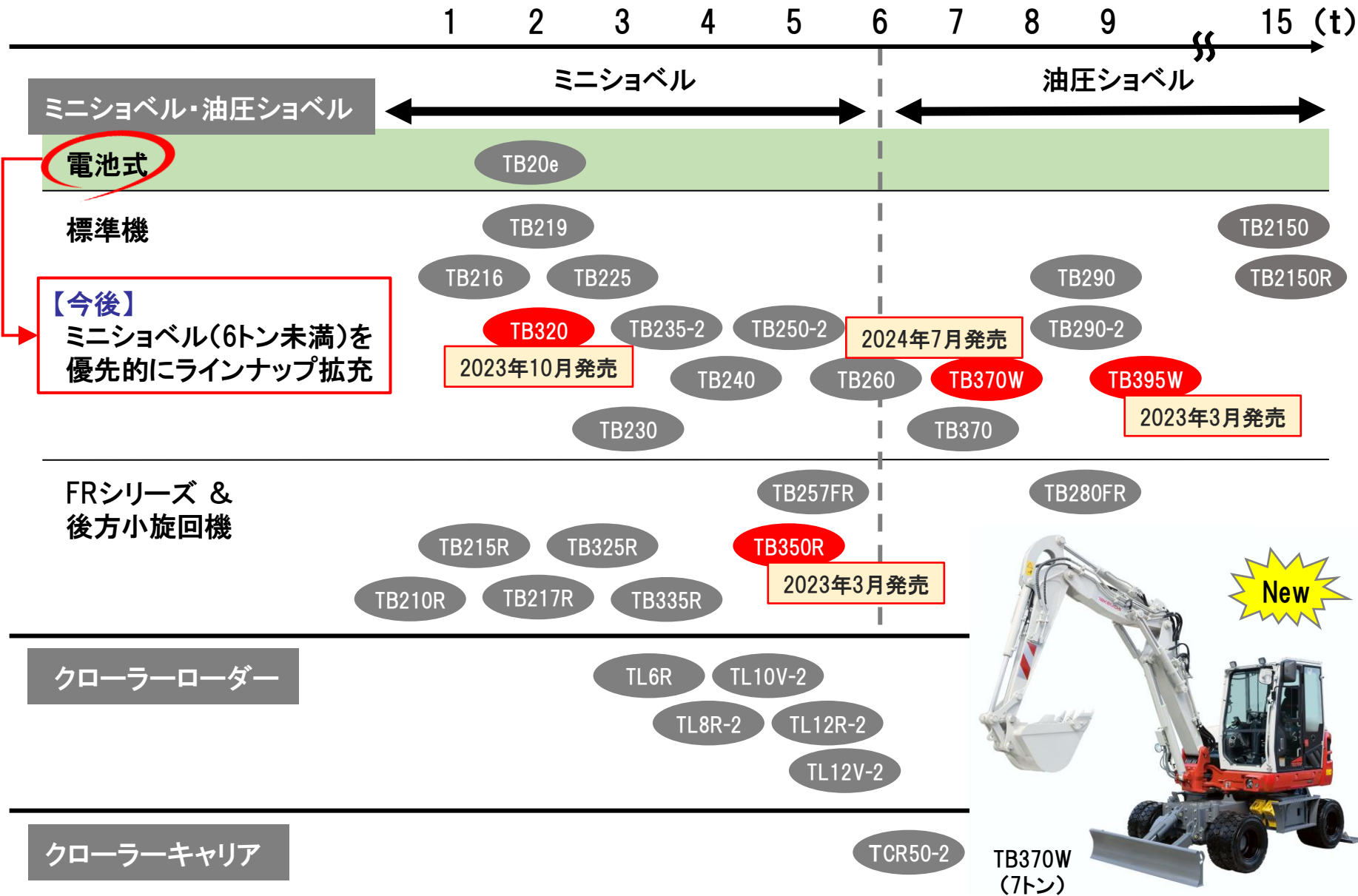
	上期実績	下期前提
USD	154.54円	138.00円
GBP	197.73円	179.00円
EUR	166.48円	152.00円
RMB	21.25円	19.30円

※1 為替レートは、12ヶ月間の平均レートを表示

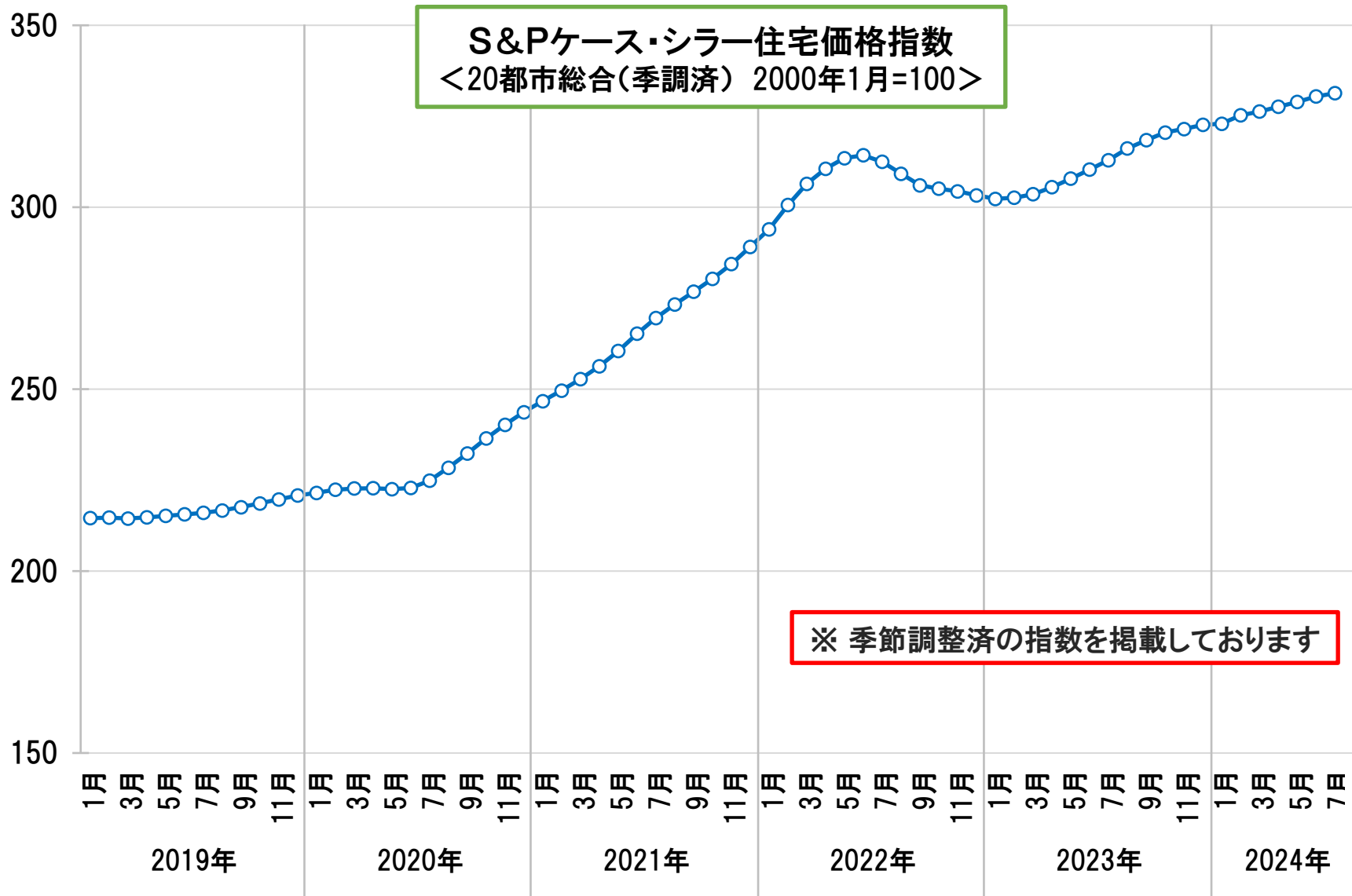
※2 ROE(自己資本当期純利益率) = 当期純利益 ÷ 純資産 × 100 (純資産は期首・期末の平均値)

※3 ROA(総資産経常利益率) = 経常利益 ÷ 総資産 × 100 (総資産は ")

製品ラインナップ

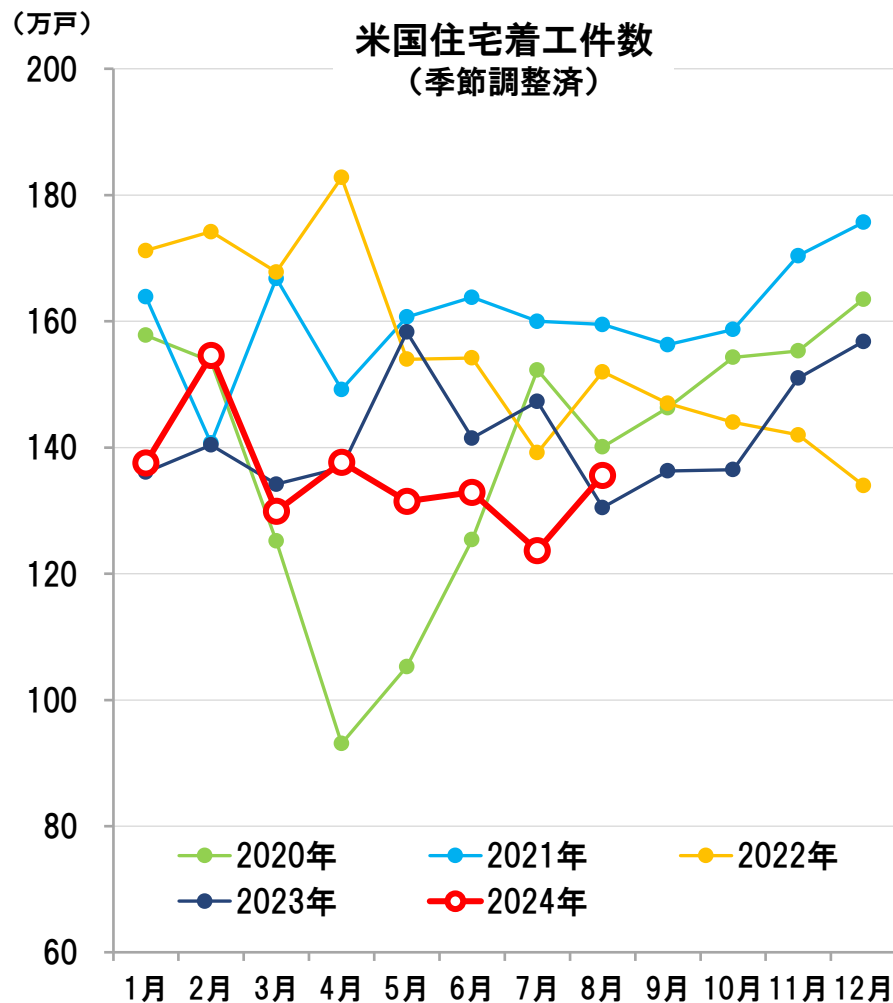
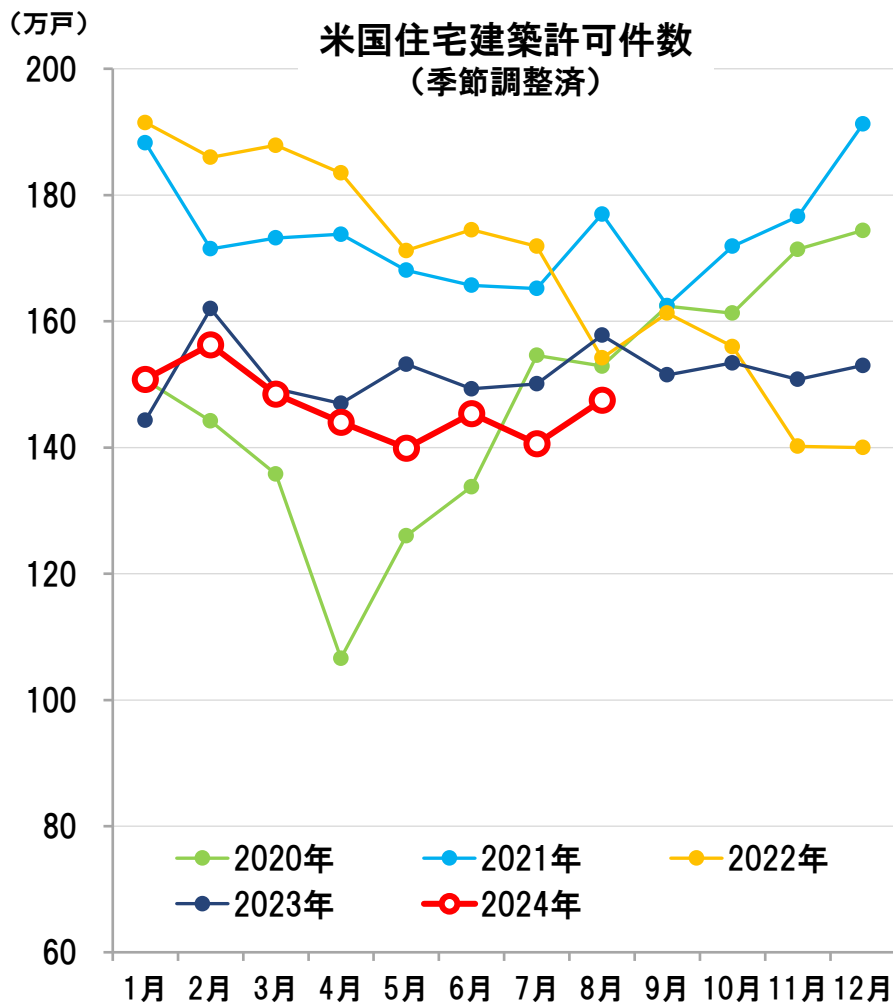


市場見通し



市場見通し

- 2020年上半期にはコロナ禍で住宅需要が冷え込むも、経済活動の再開とともに**V字回復**
- 2021年は高水準を維持していたが、2022年3月以降米国利上げにより減速
- 2023年は調整期間が続くも需要そのものは根強く、直近では持ち直しの動きもあり



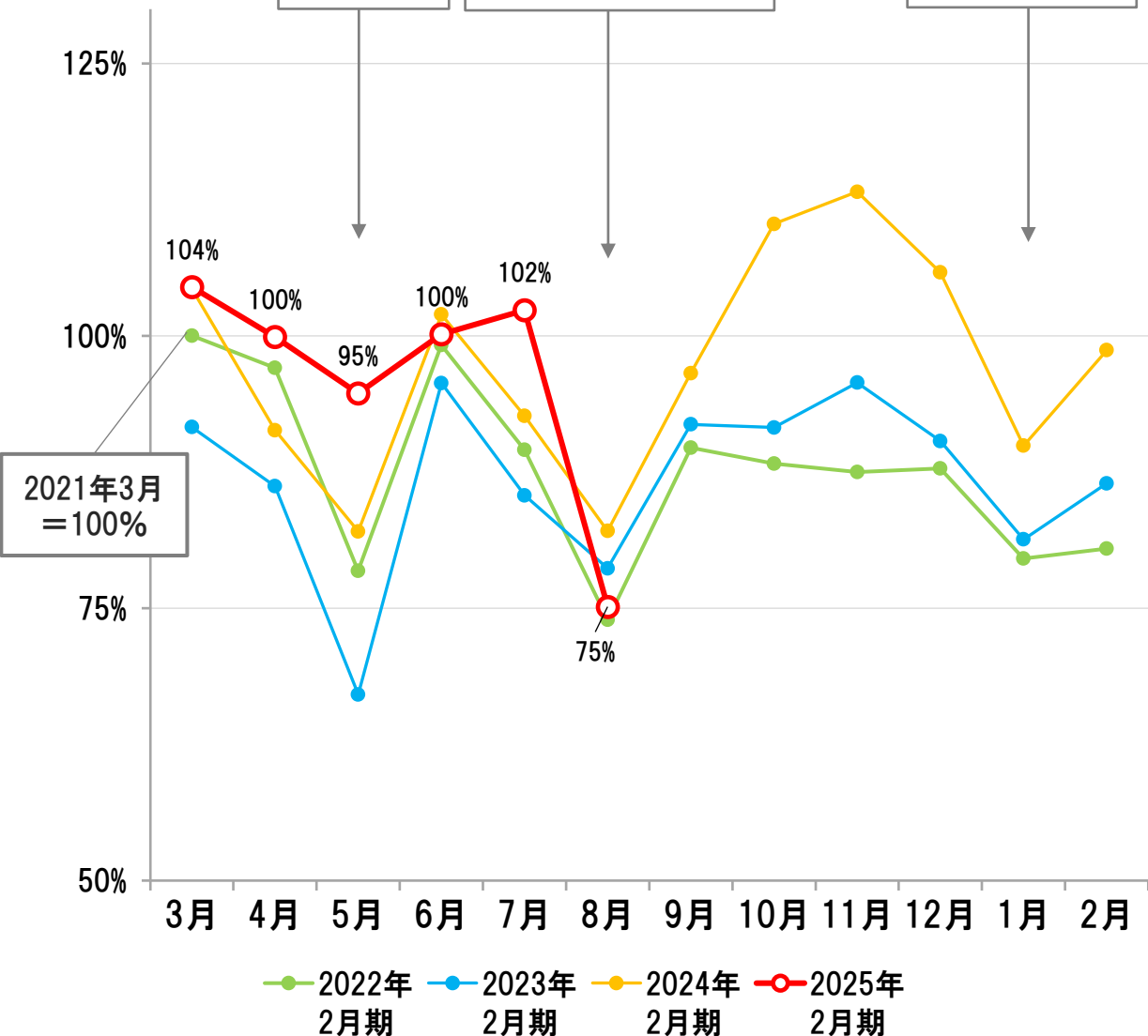
生産台数の推移

【月別推移】

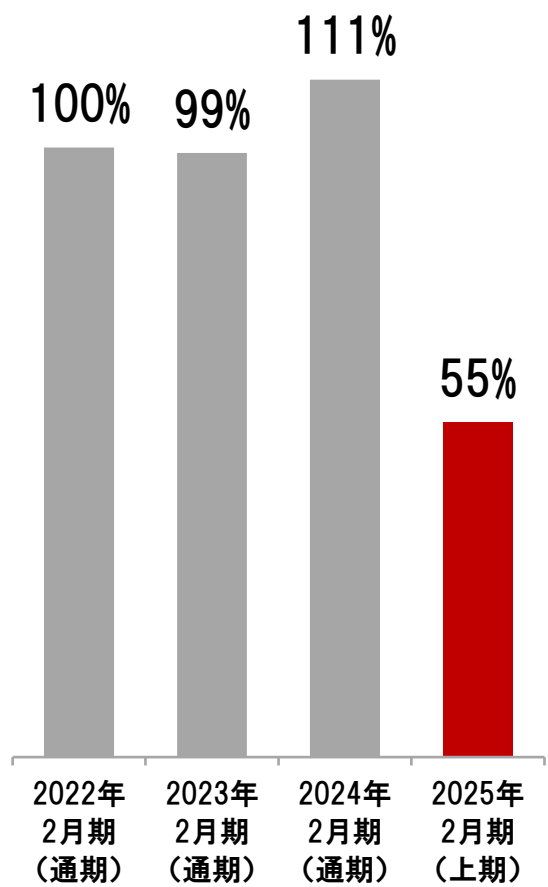
GWによる稼働日減

夏季休暇による稼働日減と生産調整

年末年始による稼働日減



【年度別推移】



2022年2月期 = 100%

ESG重要課題(マテリアリティ)一覧

#	E	S	G	SDGs	社会課題	取り組みテーマ	目標
1	○			13	気候変動の抑制	電池式ミニショベルの開発・製造・販売	①
2	○			13		工場のGHG排出の削減	②
3	○			7 13		工場のエネルギー効率向上、再生可能エネルギー利用拡大	②
4	○			12	循環型経済の実現	工場の3R(Reduce, Reuse, Recycle)の取り組み	
5	○			12 13	環境負荷の削減 環境汚染の防止 化学物質管理	環境負荷を抑えた建設機械の開発・製造・販売	①
6	○			6 12		工場の化学物質排出、排水の削減	
7	○			12		SDS(安全データシート)、Reach規制、RoHS指令の対応	
8		○		8	持続可能な街づくり	市場ニーズに細かく応えた製品開発(工事現場の能率向上)	
9		○		11		レジリエントな街づくりに寄与する建設機械の開発・製造・販売	
10		○		8	お客様への責任ある対応	エンドユーザーとのつながり強化(製品・サービス情報の拡充)	
11		○		10 16	人権尊重 適正な労働慣行	雇用差別の撤廃(障がい者雇用など)	
12		○		10 16		ハラスメントの防止(ハラスメント防止教育の実施)	④
13		○		3	労働安全衛生、従業員の健康	労災の撲滅、健康経営の推進	③
14		○		4	人材開発	人財育成の推進	④
15		○		5 8	ワークライフバランスの推進	育児・介護休業、時短勤務等の制度利用推奨	⑤
16		○	○	5 8	女性活躍推進の強化	ダイバーシティ(女性、外国人の活躍推進)	⑦
17		○		4 16	地域の次世代育成	工場見学、講師派遣、自立支援学校との連携	
18	○	○		8 12	環境・社会に配慮した サプライチェーンの構築	CSR調達方針の策定、実行	⑥
19	○	○		8 12		サプライヤーにCSR調達方針の同意書を依頼	⑥
20	○			12		製品廃棄時の解体・回収・リサイクル	
21		○		16	コンプライアンス	法令・規制の遵守、反社会的勢力の排除(教育の実施)	④
22		○		16	コーポレートガバナンス	グローバルガバナンスの強化	
23		○		16	リスクマネジメント	危機管理体制、BCP、情報セキュリティ(IT-BCP)	

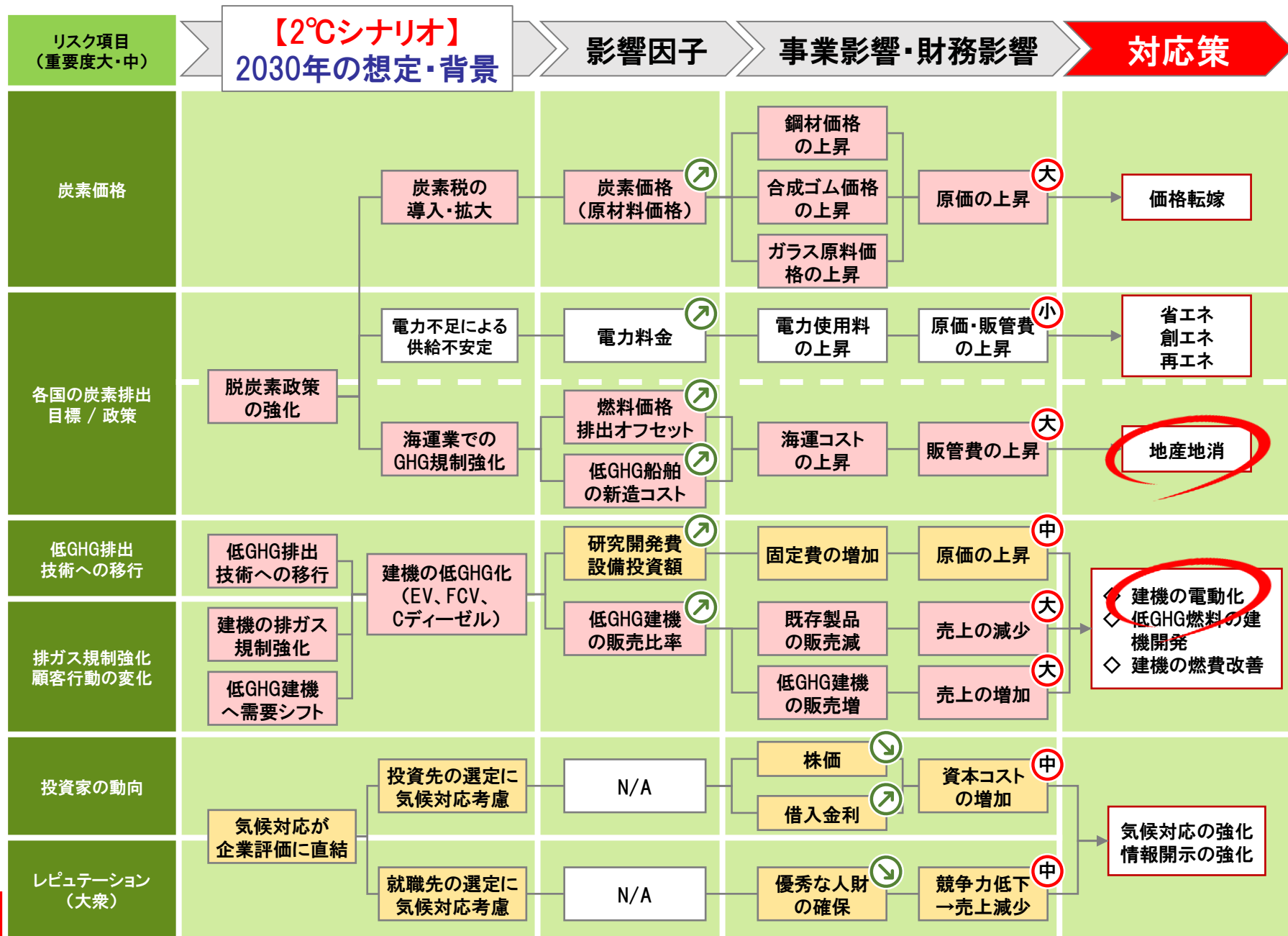
気候変動への対応策 (シナリオ分析)

🔄 : 変化の方向性

影響:大

影響:中

影響:小



お問い合わせ先

株式会社竹内製作所

経営管理部 経営企画課 / ESG推進課

TEL : 0268-81-1200

FAX : 0268-81-1127

E-mail: ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。



TAKEUCHI®